


メディカル英語 No.8

医学英語の患者教育資料を読む

—— Plain Language の原則と平易表現

 **今日のゴール：** 患者教育資料（Patient Education Material）に使われる Plain Language（分かりやすい言語）の原則を理解し、専門用語から平易表現への変換技術を習得する。ヘルスリテラシー（health literacy）の概念と、患者教育資料の評価指標（Flesch-Kincaid・SMOG）を把握する。


 この授業の問い

1. Plain Language とは何か。医師が書く論文・ガイドラインと何が違うのか？
2. 「myocardial infarction」を患者に説明するとき、何と言えばよいか？
3. ヘルスリテラシーが低い患者への説明で特に注意すべき点は何か？

※ 授業後にもう一度この問いを見て、答えを書いてみよう。

 患者教育資料とは・ヘルスリテラシーの問題

患者教育資料は退院後の自己管理・服薬遵守・疾患理解を促すため医療機関が作成する文書。しかし多くの患者教育資料は読解レベルが高すぎ、患者のヘルスリテラシー（health literacy = 健康情報を理解・活用する能力）に合っていない。

 **衝撃の統計：** 米国では成人の約36%が「基本的なヘルスリテラシーが低い」とされ、多くの患者教育資料は実際には大学レベルの読解力を要求している（推奨は中学3年生レベル以下）。

採点者の視点

採点者はここを見ている —— 患者教育資料・Plain Languageの問題で合格答案はこういう「構造」をしている

① なぜ同じ答えでも評価が違うのか

清光学院の講師陣は、これまでに皆さんと同じ志を持った先輩受験生たちの答案を何千枚も採点し、合格・不合格の判定を下してきました。その経験から言えることが一つあります。

「正しい答えを出していても、なぜそう考えたのかが見えない答案は、採点者の印象に残らない。」

患者教育資料・Plain Languageの問題では、**平易表現の原則の根拠**の理解が答案の質を大きく左右します。

② 患者教育資料・Plain Languageで採点者が見ているポイント

「6年生レベルの語彙と短文構造がPlain Languageの基準」と根拠を示した答案が採点者評価を上げる

 この授業の使い方

各問題のワンポイントには「採点者がどこを評価するか」の視点が含まれています。答えを出すだけでなく、根拠を一文添える習慣を意識しながら取り組んでください。

③ 総合型選抜・口頭試問でも同じ構造が問われる

採点者（大学教員）が口頭試問で確認したいのは「答えが出るか」ではなく「思考の構造を説明できるか」です。この授業で習得する「上から俯瞰する」視点は、あらゆる試験形式に通用します。

続きは講義でご覧いただけます

この教材には、採点者の視点・核心的な解法・入試問題・演習・まとめがさらに収録されています。

大学教授陣が設計した「普通の授業では出会えない接続点」を体験できる完全版は講義でご提供いたします。

清光学院 AP SEIKO 理系講座 © 清光教育総合研究所